

ソーホーかごしまでの 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:平成27年7月27日(月)18:00~19:00

場所:ソーホーかごしま会議室

※ 平成27年度 第2回目

平成27年9月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島信用金庫及び取引先企業 男性	① 鹿児島市は県都であり、人口的にも突出しており、県内の他市町村とは状況が違うかもしれないが、隣接する市町村との連携についてお聞かせいただきたい。また、交流人口を増やすだけでなく、地元にお金が落ちるような施策が必要だと思うが、市の施策をお聞かせいただきたい。	① 少子高齢化や、人口減少という問題については、鹿児島県内の各自治体が取組んでいかなければならない共通の課題だと思いますが、鹿児島市は県全体の発展をリードする自治体という立場だろうと思っています。 鹿児島県の人口は約170万人ですが、今後130万人くらい減ると試算されており、そうした状況に対応するためには、企業に対する支援、雇用の確保、若者の流出対策に、しっかり取り組まなければならないと思います。 鹿児島市には現在60万を超える市民がいますが、今後減少していくことが予想されており、今後は50万人くらいに減るものと考えています。そうした状況をしっかり捉え、他の自治体との連携も取っていききたいと思います。現在、国が、連携中枢都市圏構想を示していますが、そういう取組も大切だと思っています。 企業の誘致については、県や各市町村とも連携しながら取り組んでいるがなかなか進まない状況があります。 また、地場産業の育成については、定住人口を確保する上で重要だと考えています。市の創業支援施策については、チャレンジジョブ事業、中小企業者への支援、融資では中小企業資金融資制度の創業支援資金があり、これらを進めていくことで地場産業の育成につながり、さらには雇用促進にもつながると考えています。	企画財政局 経済局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【経済局】 企業立地については、鹿児島市企業立地推進方策に基づき、都市機能の集積等を生かした情報関連産業やコールセンター等の都市型産業、豊富な農林水産資源等を生かした食関連産業など、立地を推進する業種を絞り込み、効果的な企業立地に向けた活動を行っています。 都市型産業については大型のコールセンターなどを誘致していますが、製造業の県外からの誘致は距離的なハンディや工場適地が少ないことなどにより進んでいない状況もあります。 今後も、本市の特性を生かしながら、県など関係機関と連携し、積極的な企業立地活動に取り組んでまいります。 【参考：立地協定件数】過去5年間 22年度 コール4、製造3 23年度 コール2、IT3 24年度 コール2、IT3、製造1 25年度 コール2、事務処理1、IT3、製造4 26年度 コール3、事務処理1、IT2、製造2 ※製造は、いずれも地元企業の増設 地場産業の部分については、市長回答のとおり
2	鹿児島信用金庫及び取引先企業 男性	② 鹿児島市に帰りたけれど、仕事がない、受け皿がないという若者も多い。市としての施策をお聞かせいただきたい。	② 色々な都市で鹿児島市の紹介をしていますが、Uターン、Iターンを促進するための対策というよりも、いかにして鹿児島市で生まれ育った人を引きとめるかという対策が大切だと思いますので、地元企業の方々にも頑張っていたいただきたいと思います。 また、雇用の拡大や、安定的な雇用確保のために国がトライアル雇用奨励金という制度をつくっています。また、リタイア世代の受け皿としてのシルバー人材センターの窓口もありますが、やはり一番重要なことは、地元企業の方々にも頑張っていたことだと思います。	経済局	若者の安定的な雇用機会の確保のために、国のトライアル雇用奨励金制度と連動した本市の「トライアル雇用支援金」制度による市内事業所への助成やものづくり分野におけるマッチング事業などを実施しており、今後も引き続き取り組んでいきます。 また、本市ならではの国際的な観光資源を活かした観光交流や戦略的な企業立地の推進、創業・起業や事業の振興・継続のための各種支援などを継続していくことにより、魅力ある雇用の場の創出や雇用機会の拡大への取組を促進していきます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島相互信用金庫及び取引先企業 男性	③ 建築業については、高校で建築業の技術を身に付けてもなかなか市内に残らない。これは本市だけのことではないが、3Kというなど大変なイメージもある。これを払しょくするような市の施策や取り組み等があれば教えていただきたい。	③ 設備、建築等関連の雇用を確保するには、地元企業が経営をしっかりとすることが重要です。 市の公共事業については、可能な限り、地元企業の技術を生かして、地元でできるものは地元でと考えています。そのことが、経済振興にもつながるし、建築関係の技術継承にもつながっていくと思います。 市としても技術者の育成、雇用の確保にも取り組んでいきたいと考えています。	建設局 企画財政局	【建設局】 本市では、労働環境の改善や技術者の育成を目的として ・休暇を取得できるような適正な工期設定 ・雇用・年金・健康保険の加入状況の確認 ・適正単価の採用 ・専門工事の分離発注 等に取り組んでいます。 また、本市発注工事の特記仕様書には、「地場産業育成の立場からできるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し使用するよう努める」旨を明記し、確認を行っています。 さらには、(一社)鹿児島県建築協会と建築工事に関する協議会を開催し、若手技術者の育成についても協議を行っています。 【企画財政局】 雇用確保の取り組みとしては、入札参加資格の審査や、一般競争入札の総合評価において、新規卒卒者を雇用した企業について加点評価しています。
4	鹿児島相互信用金庫及び取引先企業 男性	④ SOHOで創業支援等の業務に携わっているが、鹿児島市では開業率よりも廃業率が高い。このことについて市としての課題認識をお聞かせいただきたい。	④ 鹿児島市の廃業率は高い状況です。できるだけ、息の長い地元企業が頑張って引っ張ってほしいと考えており、そうすることで地域の活性化につながると思います。金融機関の皆さんには、私たちにノウハウや助言、指導をしていただくことや、企業の皆さんの販路開拓サポートに取り組んでいただければありがたいです。 市としては、新規創業にチャレンジする意欲のある起業家は大事にしていきたいと考えています。そのためにも、様々な団体がありますので、情報交換などこれまで以上に取り組んでいきたいと思っています。また、市としてもできる限りのことはしていきたいと考えています。	経済局	【経済局】 創業につきましては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、地域産業競争力強化の一つの重点施策として位置づけられています。本市の開業率は、直近の国の統計では、ともに国及び県よりも高い状況となっており、さらに開業を促進していく必要があるものと考えています。 今後とも、新規創業者等を育成支援する取り組みの中で、マーケティング的な視点をはじめ、事業計画や資金計画等に関するハンズオンでの助言・指導、事業者間のマッチングや販路開拓サポートなどを通じて、成長性かつ事業継続性の高い事業者を生み出していきたいと考えています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島興業信用組合及び取引先企業 男性	⑤ 鹿児島市には民間で、先進的リサイクル施設を備えているところがあり、その施設を活用することで廃棄物を資源化できる。鹿児島市の廃棄物処理をそのような民間施設に委託・移譲することは考えられないか。	⑤ 鹿児島市では、グリーン購入法による再生資源を利用した製品の購入、使用などに努めており、今後も、これらの製品を積極的に活用していきたいと思っています。 民間企業でも最先端の技術を駆使して環境にやさしい取組や、再生可能エネルギー、再生資源の活用を進められているのですが、本市でも、市も再生可能エネルギー推進課を設置して、そうした取組を進めているので、皆さま方の技術やノウハウがあればお聞かせいただきたいですし、市としても取り組めることがあればご提案いただきたいと考えています。	環境局	市長回答のとおり
6	鹿児島相互信用金庫及び取引先企業 男性	⑥ 高見馬場地区は、天文館と鹿児島中央駅という2つの商圈の中間にあり、商圈間の回流を進める上で重要な地点であり、最近では歩行者も増えているような気もする。天文館と鹿児島中央駅の回流にもつながるようなものがあればよいと思うが、今後の具体的なイメージがあるか伺いたい。	⑥ 本市では、官民一体となって中心市街地活性化対策に取り組んでいるところですが、中央市街地全体の活性化を進めるためには、鹿児島中央駅と天文館の中間地点である高見馬場の活性化を図り、回遊性を高める必要があると考えています。また、加治屋町も天文館と中央駅をつなぐ、重要なエリアであると考えています。 これまで、中央駅から甲突川を経由していづろ天文館地区までを繋ぐ、歩行者ネットワークとして清滝川の遊歩道の整備をしました。 また、電車通り側の取組も進める必要があると考えていますが、現在、加治屋町の再開発の勉強をしている方々がいらっしやいますので、その方々への支援も行っています。 また、今年かごりんの運用も開始したところですが、自転車走行ネットワークの整備も進めているところでございます。	経済局 環境局 建設局	【経済局・建設局】 市長回答のとおり 【環境局】 コミュニティサイクル「かごりん」につきましては、温室効果ガス排出量の削減や回遊性の向上等を図るため、本年3月に運用を開始しました。今後も、利用促進を図る中で、回遊性の向上に努めます。
7	鹿児島興業信用組合及び取引先企業 男性	⑦ 天文館地区については、We Love天文館協議会などでは協力を頂いているが、これらはいわゆる頭の部分で、手足となって動くようなものがない。タウンマネジメント会社をつくって、そのような実行するものをつくりたいが、組織をつくるにあたっては、やはり行政の支援が必要である。このことについてどのように考えているかお聞かせいただきたい。	⑦ 本市には、鹿児島市、鹿児島商工会議所、商店街等が出資者となって設立したまちづくり会社「(株)まちづくり鹿児島」があり、中心市街地全体の活性化、回遊性を高めるという観点から事業を進めています。 それらを通じて、柔軟性があり、ニーズに対して迅速、的確に対応できることもタウンマネジメントの一つであろうと思います。 地方創生においても、産・官・学・金・労・言と言われるように、幅広い方々と協力しながら、またご意見を伺ってそれを吸収しながら、しっかりと取組を進めていきたい、と考えています。	経済局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	鹿児島銀行及び取引先企業 男性	⑧ 観光は一自治体では難しい。海外から人を呼んでくることや、リピーターを増やしていくためには広域連合が必要だと考える。金融機関の役割もあると思うが、市としてはどのように考えているか。	⑧ 観光は、交流人口を増やし、地域の活性化、まちの魅力を高めるために大変重要な分野で、鹿児島県政の大きな柱となっていますが、鹿児島市においても、平成18年から観光未来戦略に基づき、官民一体になってハード・ソフト両面から各種施策を着実に推進してまいりました。 これまで、鹿児島市にある固有の資源、歴史や文化、景観等を発信してきましたほか、桜島・錦江湾ジオパークの世界認定や、WHOの推進するセーフコミュニティの認証取得など世界に向けた取組も進めてきています。 交流人口については、九州新幹線の開業以降、宿泊観光客数も順調に推移していますが、その維持、拡大のためには、一企業体だけでなく、観光関連団体ほか多くの皆さまの協力が必要だと考えています。 今後、新たな事業やイベントを実施するには、企業の皆さんの協力が必要でございます。行政も取り組むので、お互いに協力し、交流人口の拡大に向け取り組んでいきたいと考えています。	経済局 市民局	市長回答のとおり
9	南日本銀行及び取引先企業 男性	⑨ 全国の公共交通機関で相互利用可能なICカードを導入することは、観光客の利便性向上を図る上で重要である。大分市や宮崎市などでも、全国の公共交通機関で相互利用可能なICカードを導入しているが、本市はラピカしかない。本市における今後のICカードについてどう考えているか、また地元金融機関の役割についてお聞かせいただきたい。	⑨ 鹿児島に来てくださっている方の利便性の確保は大変重要な課題だと認識しています。全国の公共交通機関で相互利用可能なICカードの導入については、おそらく多くの皆さまが期待していることで、観光客の利便性の向上にもつながるものと考えています。 一方、ICカードの導入については、関係事業者相互の理解が必要で 今後、地元の金融機関の皆さまともICカードの導入等については情報交換・意見交換を進めていかなければならないものと考えていますし、ご意見については、しっかりお伝えし、共に連携を図りながら促進してまいりたいと思います。	交通局	全国相互利用の可能なICカードの導入につきましては、県外から来られる方をはじめ、利用されるお客様の利便性の向上は図られるものの、導入のためにはICカードシステムを共同で運用している他の民間バス事業者と協議のうえ、現行システムを再構築する必要があります。そのためには、交通局及び民間バス事業者において、相当額の費用負担が見込まれる等の課題があり、交通局の厳しい経営状況をふまえると難しい面もあります。 今後は関係機関の方々と情報交換・意見交換を行いながら、実施可能な方法を検討していきます。
10	鹿児島相互信用金庫及び取引先企業 男性	⑩ 長野県松本市では、松本山雅FCスタジアムを中核施設としたコンパクトシティの取組を進めている。鹿児島市でもスポーツに限らず、ドルフィンポートやマリンポートなどで、中核となる施設を活用したコンパクトシティを進めていくことはできないか考えをお聞かせいただきたい。	⑩ 鹿児島市も、コンパクトシティを目指した取組を進めており、必要なものは可能な限り地域で完結するようなまちづくりを進めています。 お話がありましたように、中核施設を中心としたまちづくりを進めるということも重要だと思います。鹿児島市においても、ドルフィンポートの跡地については、県の事業の実現性というものがありますが、もし実現すれば、市電の延伸等も検討したいと考えています。このことは、回遊性の向上を図り、コンパクトシティに向けた取組の一つになるものと考えています。 また、事例として挙げられた松本市とは、文化・観光交流協定を結んでいます。そのような先進地の事例も参考にしながら、取組を進めていきたいと思っています。	建設局 企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	南日本銀行 及び取引先 企業 女性	⑪ みんなが暮らしやすく、働きやすいことがこれからのまちづくりでは重要だと思うので、ワークライフバランスについて伺いたい。子育て支援等について、すでに市として企業や市民に働きかけていることを教えてほしい。	⑪ ワークライフバランスを推進することは定住人口を確保するという意味でも大変重要なテーマです。 鹿児島市では育児休業の取得促進、従業員が子育てしやすいような職場環境を整える企業をにこにこ子育て応援隊として登録し、その取組内容をホームページやガイドブック等で広報することで取組企業の拡大に努めています。 また、ワークライフバランスの推進につきましては、勤労者やその家族の余暇活用の充実と相互の交流の促進を目的とした勤労者交流センターを設置しておりまして、その中で中小企業の勤労者の福祉の向上を図るための事業の支援をしています。 また、サンエールかごしまでは、ワークライフバランスの推進についての環境醸成の必要性や、市民が家庭と仕事の両立について学ぶことができるような講演会やセミナーを開催しています。 また、共働き世帯の増加など、子育てを取り巻く環境の変化を踏まえた子育て支援に係る基盤整備を図るため、保育所の待機児童の解消や放課後児童健全育成事業の推進に努めています。 「子育てをするなら鹿児島市」という大きなテーマを市としても掲げていますが、結婚して、子育てして、仕事をしていく。そういう生活設計を、行政としても支援していくことが、人口減少問題を克服するためには必要なことだと考えています。	健康福祉局 経済局 市民局	市長回答のとおり
12	鹿児島興業 信用組合及 び取引先 企業 男性	⑫ 市街化調整区域を開発する際に都計審にかける必要があるなど、使い勝手が悪く、足かせになっているように感じる。市街化調整区域が今後どのようになっていくか伺いたい。	⑫ 市街化調整区域については、市や県の都市計画審議会の議論を踏まえ、概ね10年ごとに全体の見直しを行っています。最近では、平成26年度に第4回の定期見直しを実施しました。 先ほどのお話でもでしたが、コンパクトシティを進める上でも路線の見直し、一定の方針でまちづくりを進めることが必要です。 平成16年の旧5町の合併もあり、地域ごとの偏在性を是正しなければならないという想いもありますけども、それぞれ地域には、特性、歴史もありますが、あらゆる要件をクリアするような取組が必要だと思えます。	建設局	本市では、コンパクトなまちづくりを推進する施策の一環として、一定規模以上の宅地開発等を抑制するため、「市街化調整区域における住宅建築等に関する条例」を改正する手続きを進めています。 また、今後の市街化調整区域におけるまちづくりとしては、鹿児島市集約型都市構造に向けた土地利用ガイドプランで位置付けた集落核の形成が重要と考えており、具体的な実現化方策の検討を行っています。